

1、園の教育の目標

春木カトリック幼稚園は、生活を通して「生きている」喜びと共に、いのちの尊さを体験させ、イエス・キリストの福音に基づいた心と理性の教育に努めます。また、子どもたちがあらゆる生命を尊び、神様・家族と周囲の人々を大切にして社会に貢献できる子どもたちを育てるように努力いたします。

2、評価項目の取り組むべき課題

評価項目	取り組み内容
保育内容の充実	● 職員の振り返りの時間を確保し、評価と反省を繰り返す中で、子どもに必要な環境、健やかな成長のための保育・教育を目指す。子どもたちが身近な環境に 興味・関心を持って試行錯誤や工夫を重ねていく過程で、職員が子どもの気付きや 発想をどのように認め、次につなげていくかを職員間で話し合っていく。本園の教育理念と指導計画に基づき、子どもたち一人ひとりに丁寧に関わる保育を行う。 ● 絵本を読む習慣を身につける為、絵本や紙芝居の時間を多く取り活字に対して関心を持てるようにする。
心の教育の充実	● カトリック幼稚園の教育理念に基づき、人を大切にし、思いやりをもった言葉と行いができるよう心の教育の充実を図る。
教職員の資質・能力・良識・ 適正の向上	● 保育の質の向上に繋がる研修を今後も実施していく。対面やオンラインでの研修や勉強会などにも取り組む。また必要な研修内容を見返し更なる資質向上に努め、考動し、職員間での共有化を図る。
特別支援教育	● 個別の支援計画の作成や園内支援体制の整備を行い、一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、個々にあった指導をおこなうことで、達成感や協調性を育む。
縦の学年との関りを深め 社会性・共同性・主体性を育む。	● 主体と共同性を育てる為、異年齢児との活動を増やしていく。それによって、さまざまな個性と出会う機会が増え、子どもたち自身が自分で考え、対応するという社会性や共同性・主体性をはぐくむことができるようにする。
食育活動の充実	● 子どもたちが「食を営む力」を養い、食事を楽しみ、栽培等を通して食への関心を高め、様々な食材に触れることで、好き嫌いをなくし、バランスの取れた食生活を送れるよう導く。